

1月17日～1月23日 商品検査実績（検査中のものは除く）

●微生物検査 210 検体

・検査の結果特に問題はありませんでした。

●理化学検査 49 検体

|                    |                    |                              |
|--------------------|--------------------|------------------------------|
| 食品添加物検査            |                    | 16 検体実施しました。検査の結果問題ありませんでした。 |
| 残留農薬検査             |                    | 12 検体実施しました。検査の結果問題ありませんでした。 |
| 簡易農薬検査             |                    | 今週は実施しておりません。                |
| PCR検査              | 畜種判別検査             | 今週は実施しておりません。                |
|                    | 遺伝子組換え食品<br>（大豆）検査 | 今週は実施しておりません。                |
|                    | 米のDNA異種米判定         | 今週は実施しておりません。                |
| 米鮮度判定              |                    | 2 検体実施しました。検査の結果問題ありませんでした。  |
| 産地判別検査             |                    | 今週は実施しておりません。                |
| 卵鮮度判定              |                    | 今週は実施しておりません。                |
| アレルゲン検査            |                    | 7 検体実施しました。検査の結果問題ありませんでした。  |
| ヒスタミン検査            |                    | 10 検体実施しました。検査の結果問題ありませんでした。 |
| アフラトキシン(カビ毒)       |                    | 今週は実施しておりません。                |
| 放射性物質検査（スペクトロメータ※） |                    | 2 検体実施しました。検査の結果問題ありませんでした。  |

※NaI シンチレーションスペクトロメータ：<sup>しゃへいたい</sup>遮蔽体付検査機器で核種を特定できるもの：ヨウ素 131、セシウム 134、セシウム 137 を測定

品質保証室で実施している商品検査についてお知らせします

・カビ毒（アフラトキシン）検査

アフラトキシンは、カビ毒の一種で熱帯から亜熱帯地域にかけて生息するアスペルギルス属のカビが産生するかび毒です。アフラトキシンはヒトや動物に急性の肝障害を引き起こしたり、遺伝毒性及び発がん性物質であることが知られています。ならコープでは検査キットを使用し、海外から輸入されているナッツ類を年間 50～60 検体検査しています。

